

新 雲仙プロジェクト通信 4号、5号

平成25年5月23日(土)、7月13日(土)

【平成25年度の雲仙プロジェクト活動の開始です】

昨年、準備というか、取り組み方を模索してきた「新 雲仙プロジェクト活動（奥雲仙の自然を守る会との連携事業）」を、ミヤマキリシマが咲き誇る5月23日、そして、7月13日に実施してきました。

2回とも、山下さん、金尾さん、私の3名と少人数参加ですが、今後に向けてしっかりと地域の方々との結びつきを強めることができたのではないかと思います。

8月3日の活動（後でご紹介します）をはじめ、今年は盛りだくさんの事業が予定されていますので、多くの方のご参加をお願いします！！

それでは、その報告です。

◆松葉酒作りへのチャレンジ（5月23日）

5月23日11:00頃、中田代表が勤められている寿妙院協の「奥雲仙の自然を守る会」本部？に到着すると、なにやら、多くの方が一升瓶を抱えて楽しそうにされています。午前中から、みなさんで一杯やってるのかと思いきや、松葉酒づくりの作業現場でした。地元の長老本田さんの指導のもと、松の新芽を刻み、一升瓶の中に水と砂糖を詰める作業を地元の奥さん方や旦那衆が楽しそうにやられていました。

我々3人も、ちょっと挨拶をするとさっそく仲間に入れていただき、松葉酒づくりを体験させていただきました。長老本田さんの話によると、1年後に、長寿間違いなしのご利益があるお酒風の飲み物ができるとのこと。むむむ、1年間もじっと待たなければ飲めないのか！とも思いましたが、何しろ長寿の効果がある飲み物。1年間なんてあっという間だということのようです。ちなみに、市販で同じものを手に入れようとする？？万円もするとのこと、さらに気合が入ります。

参加者全員に、それぞれ松葉が入った一升瓶をいただき、満足げでありました。



← 1年後には不老長寿の特効薬となる松葉酒

◆ミヤマキリシマ保全活動と楽しい昼食

松葉酒作りがひと段落したところで、念願のミヤマキリシマを見に行こうということで、集落の脇の牧草地まで、全員で移動ということとなりました。ちなみに、美しいミヤマキリシマを見ながら昼食かと思っていましたが、今回の保全地区は牧草地なので、そんなところで弁当食べていると牛がやってくるということで、屋内での昼食会となったということでした。そうでした、対象としている保全地区は牧草地でした。

ミヤマキリシマの咲き誇るところをご覧下さい（写真 下）。今回、地元の方々が、除草・伐採をしっ
かりされたということで、久しぶりにこのような風景が蘇ったということでした。



毎回楽しみにさせていただいている地元の食材を中心とした昼食が、今回も準備されていました。食事
をしながら、中田代表より、「タカラ・ハーモニストファン
ド」の助成申請を受けることができるようになったとの報告
がありました。長崎県からは、この助成制度がスタートして
初めての採択になったということです。これまでの活動がし
っかり評価されたということだと思います。

また、山下さん、金尾さんも、地元の方々と、活動のあり方
を始め、いろいろな話題を提供され、また、山下さん得意の
営業ジョークに、奥さんがたまに笑い転げるなど、共助研の使
命を全うすべく頑張られている傍らで、私こと矢ヶ部は、
BGM 担当としてギター弾きまくっておりました（役割分
担？）。



日本酒ではありません、松葉酒です



参加いただいた方々

NPO：中田代表、木田さん、山口さん（コーディネーター）

入口さん、古賀さん

惣菜作り仲間：江副さんとお友達の方々（3名）

松葉酒講師：本田さん

共助研：山下さん、金尾さん、矢ヶ部

◆ミヤマキリシマの群生復活に向けて（7月13日）

2ヶ月後の7月13日、同じく山下さん、金尾さん、私の「雲仙Pトリオ」メンバーで、奥雲仙へ行ってまいりました。中田代表より、タカラ助成事業の活動としてミヤマキリシマの周りの除草をしますということで向かいましたが、到着が11:20ごろと少し遅刻したこともあり、ほとんど作業らしい作業はお手伝いできませんでした。それでも、刈り取った草をかき集める作業程度は気持ちだけお手伝いできたかと思います。

すみませんでした。

M(。・ε・。)m

切り取られた松を運ぶ金尾さん ⇒



ミヤマキリシマの現場は、牧草地というもののある間に草木が生い茂る状況にあります。人間の力だけで対応しようとすると、人海戦術という言葉の通りに、一面人だらけというような状況が作り出せないと、間に合わないようなそんな気がします。中田代表をはじめ「奥雲仙の自然を守る会」の方々は、そのことを承知で、でも、なんとかしなければいけないとの気持ちで、少ない人数で、「人海」の力がでないか苦心

されているのです。今回、中田代表の思いが雲仙市にも通り、無事、「雲仙市 市民提案事業」の採択も決まったということです。その説明は、午後の報告会において中田代表と木田さんから報告ありました。

◆昼食会と報告会

今回もまたまた、地元食材と島原そうめん等、地元の方の手作り惣菜で、おもてなしを受けました。

昼食会の中で、中田代表より、「雲仙市 市民提案事業」が無事に採択されたとの報告がありました。採択まで、提案書作り、プレゼンテーション、その後の市とのやり取り等大変な苦労の末の採択だったというふうに聞いています。これで、今年は「タカラ」と「雲仙市」の二つの事業をこなしながら、NPOとしての役割を進めていくこととなり、結構ハードなスケジュールが組まれていました。

共助研としても、できる限りの支援と知恵だしを行うことを約束して、7月の活動を締めてまいりました。どうぞ皆さん、8月3日以降の雲仙プロジェクトへの参加、よろしく願いいたします。



【第4号、5号 新雲仙プロジェクト通信作成担当：矢ヶ部】

写真集



ミヤマキリシマ鑑賞会のメンバー集合写真です(H25.5.23)



「タカラ・ハーモニストファンド」の助成金で購入した鎌を持って (H25.7.13)